



総合教育センターだより

平成21年10月16日（金）

第7号（通算第90号）

京都府総合教育センター

TEL 075-612-3266

Be Connected

北部研修所

親子おもしろ科学実験教室



今回で第10回目を迎えた「親子おもしろ科学実験教室」は、親子で科学実験を楽しむ体験を通し、科学に対する興味関心を高め、理科学習の動機付けを目的に開催しています。

9月12日の当日は、小学生と保護者合わせて215名が、所員の演じるサイエンスショーやロボットショー、ブースでの実験を「瞳」を輝かせながら楽しみました。



知的好奇心が会場一杯に

☆「理科好き」に育てたい

おもしろ博士の「みなさんは理科が好きですか？」の問いかけに、「大好き！」との大きな返事でサイエンスショーがはじまりました。

ステージで繰り広げられる色々な実験や説明に「すごい！」「なぜ？」「へー！」と驚きと頷きの連続でした。

☆新ブース登場

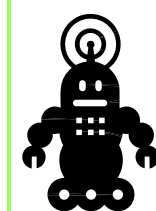
身近な環境に興味を持ってほしいと考え、「ミニ水族館」を新たに設置しました。水族館では、由良川水系に生息する淡水魚を中心に50種近い水の中の生き物を観察しました。子どもたちは、たくさんの生き物を食い入るようにじっと見つめていました。

☆苦労したから感動倍増

顕微鏡観察で見つからない水生生物、石を割っても出てこない化石、吹いても鳴らないストロー笛、何度も失敗しながらも見つけたとき、できたときの笑顔は最高でした。

「見つけた！」「鳴った！」「できた！」と宝物を見つけたような子どもたちでした。

“気づき”と“実感” ある体験



「なぜ？」「なるほど！」



☆成功のもと「つながり」

工業高校、綾部高校、福知山高校の高校生や教員、また府北部地域の小・中・高の教員など、センター所員以外に36名もの多くの方々のご協力をいただきました。

「理科好き」の子どもを育てたいとの気持ちがつながったからこそその成功でした。

☆参加者の声から

●体験あり、実験あり、展示あり、とても多彩で親子とも感動し、楽しく過しました。

●「楽しい」から「なぜ」という気持ちで自然の原理に気付く良い機会になりました。

●スタッフの方も親切で、子どもたちは大喜びで参加し、興味を深められました。

実技教科における出前講座

～北部研修所より～

●実技等をともなう教科の出前講座

北部研修所（科学技術教育部）では、理科、音楽科、図画工作科、家庭科、体育科の出前講座を行っています。今年度、既に43件の申込を頂き、9月末までに31件、学校や小学校教育研究会各支部で実施してきました。

研修内容については、学校と事前協議を十分にし、「実験などの実技にとどまらず、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり、子どもの力を伸ばす授業づくり」を目指した研修になるよう努めています。



《理科》
「電磁石」の導入を工夫する先生たち



《音楽科》
教材の幅広い活用方法を学ぶ先生たち

※特に次の点を工夫して実施しています。

- ①新学習指導要領の内容に対応した具体的な教材や授業展開などの実践例を取り入れた研修を実施します。
- ②児童がわかっていくことや学ぶ楽しさを実感していく授業づくりを目指した研修を実施します。
- ③学ぶ意義を実感させ、学ぶ意欲を高め、学ぶ主体としての力を育てる授業づくりを目指した研修を実施します。



《家庭科》
調理の基礎・基本の指導方法を学ぶ先生たち

●受講者の感想

- 実験を通して「作る楽しさ」と「試すおもしろさ」、「確かめ合う喜び」が実感できた。新しい発見や学びがあり、授業でも児童に伝えられると思った。（理科）
- 音楽科指導に対する苦手意識があったが、目からうろこの実技研修だった。音楽科指導の「大切さ」と「楽しさ」を実感できました。（音楽科）
- 絵画は、子どもの自由に描かせるのではなく、教師の指導すべき点が絵画に反映されていることがよくわかった。（図画工作科）
- 素材の食感を生かして、調理方法を変えるだけで色々な種類の料理がつくれ、多くの楽しい発見があり、子どもにも教えてやりたいと思いました。切り方など「正しく教える」ことの大切さも改めて実感しました。（家庭科）

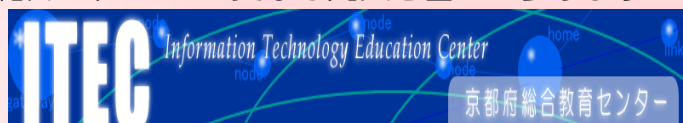


●センターHP (ITEC) の活用を！！

センターHP (ITEC) では、研修講座の情報をはじめ、授業改善に役立つ教材・教具、アイデアなど、多様なニーズに応えられるよう、様々なコンテンツを掲載し、順次追加更新しています。とりわけ「授業づくりに役立つコンテンツ」は、すぐに授業で活用できる教材として、多くの先生方に実践に生かしていただいております。

これからも、センターの研究成果物を随時紹介し、ITECの更なる充実を図って参りますので、是非、有効にご活用下さい。

(<http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/>)



～センターからの一言～

“3かん” “3かけ” が大事。「共感・共歓・共汗」「声かけ・目をかけ・気にかける」